

(別紙 2)

3. 助成対象事業の成果（結果）

【事業名】

A事業② 地域を支える中小企業再生・展開支援事業

【目的〈課題認識、方向性、目標、事業実施計画等〉】

【現状】

(1) 人口の急速な減少

- ・ 岩手県の人口はH22～R1の10年間で10万人以上減少（▲7.8%）した。特にH23の東日本大震災で甚大な被害（死者6千人以上）を受けた沿岸部は▲15.7%。過疎化が進む県北部で▲13.4%と著しい。

(2) 地域経済の縮小

- ・ 近年、県南部において、自動車、半導体関連工場の拡張・集積が進む一方で、地域の消費人口減少に伴い、地場企業の縮小・廃業が著しい。
- ・ 県内事業者数は H21～H26 の 5 年間で 44,455 事業所から 38,737 事業所に減少（▲12.7%）。経営者の高齢化も顕著で平均年齢 61.6 歳（H29 現在）と全国平均を 2.1 歳上回り、後継者不足による廃業が増加するなど、地域経済の縮小が懸念される。

【課題・問題】

(1) 県内企業が抱える大きな課題

- ・ 県内中小企業 1,000 社に対するアンケート調査結果において、企業が抱える大きな課題として挙げられたのは、①生産コストの削減、②営業力・販売力の強化、③人材の確保と育成、④後継者の確保と育成の 4 点であった。
- ・ その背景として、
 - ① 原材料費、物流費、人件費等の上昇により、利益を確保できない企業が増えている。
 - ② 地域内において、消費人口減少、取引先の減少により、地域外に活路を求める企業が増えている。
 - ③ 深刻な人手不足に加え、高齢化でベテラン社員の退職も増えている。
 - ④ 経営が難しい企業においては、子息が事業継承を忌避する例も多い。

(2) 沿岸被災企業の課題

- ・ 当センターにおいては、東日本大震災で被災し、事業再開をめざす 331 社に対し、国の高度化資金を活用し無利子融資を行ってきたが、近年、復興事業が順次完了し復興関係者の縮小・撤退が進んでいるほか、記録的な不漁により水産原材料が高騰、人手不足も重なって、経営悪化が顕著となる企業が増えている。

【現在の支援事業とその課題】

- ・ 当センター及び関連機関においては、これまでも次の支援を行ってきた。
 - ① 自動車メーカーの協力により県内企業の「カイゼン」指導を行っており、今年度（R1）より国庫補助事業を活用し IoT 導入研修等を試験的に開始しているが、対象はものづくり（機械部品・金属加工等）企業に限定され、ものづくり以外の企業は補助事業の要件上対象外となっている。
 - ② 昨年度から県・金融機関・中小機構の資金活用により「いわて希望応援ファンド」を再組成し、企業の商品開発や事業展開を助成しているが、応募企業が常連化し、すそ野の拡大が課題である。特に県内中小の食品・水産加工企業は、一次加工業者が多く、取引先も食品卸企業が中心で、商品開発や販路開拓ノウハウが不十分である。
 - ③ 県内企業の人材不足が深刻化する中、県内外において人材マッチングイベント等が積極的に催されているが、全国的な人手不足の中、大手企業の知名度と給与勤務条件で劣り、従来型アナログ経営企業のままでは、若者から嫌われる状況にある。
 - ④ 県内の商工会議所や金融機関においても事業承継やM&Aを支援しているが、マーケット縮小により経営状況が厳しい中小事業者の事業承継は難しい。県内では、盛岡市、花巻市、北上市や岩手大学では新規創業及び大学発ベンチャーの起業支援施設の提供を行っているが、ビジネス面のフォローが不十分なため、単なる貸オフィス・貸研究室・貸工場となっている。

【事業実施の目的】

- ・ 岩手県南部において、自動車、半導体等の大手メーカー関連企業の集積が進む中、当センターにおいても自動車・半導体等の部品調達などの取引拡大や技術革新に注力し、実績を挙げて来たが、一方で、地域の消費人口減少や人手不足等により経営課題が山積する水産・食品加工産業やアパレル縫製等の地場産業の再生を図るために、地域の資源を活用し地域を支える中小企業の再生と発展を強力に支援していくことを地域から求められている。その発展のカギは ICT を活用したデジタル経営力であり、IoT 導入を視野に入れた生産性の向上や地域を飛び出し展開できる商品づくりと営業・販売力の強化が必要となる。さらに、これらを担う後継者・人材・起業家を総合的に育成していくことも必要となってくる。そのことから、本事業に取り組み、これまでのものづくり企業支援で培った当センターのネットワーク構築力と行動力で地域の中小企業を伴走支援していくとともに、当センターの産業支援機能の強化につなげていくことを目的とし、下記の事業を実施するものである。

【各事業の目的】

(1) 生産性向上支援事業

- ・ 本県製造業の 6 割近くは、金属・機械部品加工であるが、食品加工・縫製業も 3 割を超える重要な地域産業であり、これらの深刻な人手不足と生産コスト高騰の課題を解決するため、ICT の活用、IoT・自動設備導入に向けた集中支援を行う。
- ・ 特に沿岸部の主要産業である水産加工においては、原価計算も甘く財務状況を十分把握できない企業が多く、県北部の主要産業である縫製業は下請の薄利経営であり、利益向上に向けては生産コストの削減が不可欠である。
- ・ 当センターにおいては、現在、ものづくり企業を対象に、工程改善や IoT と自動設備に向けた専門家派遣を実施し、成果も出ていることから、こうしたノウハウをもものづくり企業以外でも展開する。

(2) 営業・販売力強化支援事業

- ・ 商品開発や販路開拓に不慣れな水産・食品加工においては、商品のコンセプトづくりをしっかり行い、具体的な行動に移していくことが重要であり、そのための伴走的支援を行う。
- ・ また、営業・販売力の強化に向けて、流通等の専門家の協力をいただきながら、販売戦略づくりを支援し、展示会の出展等により取引マッチングの機会を増やし、そのフォローアップを行っていく。
- ・ 県内縫製業においては、従来の固定した取引先との受注・下請からの脱却をめざし、国内服飾メーカーや販売店との連携を強化し、商品の共同企画開発などをモデル的に支援・展開する。
- ・ 効果的な取引支援を可能とするため、県内縫製企業のデータベースを構築し、県内企業の PR を行うとともに、アパレルメーカーや商社等との取引拡大の機会を創出する。

(3) 起業・人材・後継者育成支援事業

- ・ 今後、5G の本格運用が始まり、ICT など情報通信ツールの幅が拡大、多様な産業への活用が期待される中で、地元中小企業においてもその活用や導入を推進できる社員の育成を推進する。ただし、社内において ICT 等を推進できる社員育成が困難な中小企業も多いことから、地域で支援できる人材の育成も欠かせない。
- ・ このため、来年度、県と連携して新たに開設を計画している起業支援拠点の一環として、需要拡大が期待される ICT スキル等の習得を推進し、企業を支援できる事業者（起業家）や在宅ワーク等のさまざまな働き方に対応できる、実務能力の高いフリーランスを育成する。
- ・ さらに、起業支援拠点の開設にあたっては、本県出身で県外で活躍する若手ベンチャー企業経営者との連携を計画中であり、県外ベンチャー企業とのネットワークによる起業家及び後継者支援も行っていく。

【成果（結果）〈実施事業の内容・実績、実施した結果生まれた新たな課題等〉】

(1) 生産性向上支援事業

① セミナー開催

〔第 1 回目開催〕（産業分野別分科会）

日時：令和 2 年 8 月 18 日（火）13：00～16：30

場所：北上オフィスプラザ（北上市）

講師：㈱Badass 代表取締役 田中裕也

演題：IT・IoT 活用勉強会

参加者：10 名



[第2回目開催]

日時：令和2年11月6日（金）13:00～16:30

場所：いわて県民情報交流センター（アイーナ）会議室 804A

講師：基調講演 つづく㈱ 代表取締役 井領明広

事例紹介1 ㈱ヤマウチ 専務取締役 山内恭輔

事例紹介2 ㈱大東ニット 事業企画統括 菅原光政

演題：基調講演「2020年をデジタル改革の年にしよう！

～ウィズコロナを実現する中小企業のクラウド活用実践～」

事例紹介1 「食品製造業のITを活用した経営改革

～大きい会社ではなく、強い会社へ～」

事例紹介2 「超アナログ縫製のIT/IoT活用術

～高品質・高効率への挑戦！！～」

参加者：41 名



[第3回目開催]

日時：令和3年1月22日（金）13:00～17:00

場所：二戸地区合同庁舎1階大会議室

講師：事例発表1 ㈱サンコーソーイング 取締役専務 中川美行

事例発表2 佐藤繊維㈱ 代表取締役社長 佐藤正樹

演題：事例発表1 「生産管理システムの確立と今後の事業展開について」

事例発表2 「成熟した業界の中での中小企業の戦い方」

参加者：45 名



② ICT活用・IoT導入促進に向けた専門家派遣

ア 指導企業：(株)浅沼醤油店（所在地：盛岡市）

（事業内容：醤油・たれ・ドレッシング等製造）

- ・実施日時 1/7、1/26、3/12
- ・派遣専門家 (株)Badass 代表 田中裕也
- ・指導内容 製造現場における温度管理の見える化に関する指導及び助言



イ 指導企業：株式会社わしの尾（所在地：八幡平市）（事業内容：酒類の製造）

- ・実施日時 1/19、2/16、3/22
- ・派遣専門家 (株)Badass 代表 田中裕也
- ・指導内容 製造現場における温度管理の見える化に関する指導及び助言



ウ 指導企業：株式会社三和ドレス（所在地：二戸市）（事業内容：婦人服製造）

- ・実施日時 1/12、2/18
- ・派遣専門家 アイエステクノ株式会社 代表取締役社長 小山正則
- ・指導内容 縫製の各ラインにおける生産進捗状況の見える化（データ化）



エ 指導企業：岩手モリヤ株式会社（所在地：久慈市）（事業内容：婦人服製造）

- ・実施日時 1/13
- ・派遣専門家 アイエステクノ株式会社 代表取締役社長 小山正則
- ・指導内容 各工程の作業標準時間算出に向けたデータ取得及び分析

オ 指導企業：岩手アパレル株式会社（所在地：遠野市）

（事業内容：紳士・婦人スラックス製造）

- ・実施日時 3/16
- ・派遣専門家 アイエステクノ株式会社 代表取締役社長 小山正則
- ・指導内容 多品種少量生産に対応するためのバーコードによる生産管理



③ ICT 活用・IoT 導入モデル実証試験を実施

ア 指導企業：株式会社浅沼醤油店（所在地：盛岡市）

（事業内容：醤油・たれ・ドレッシング等製造）

〔課題及びニーズ〕

- ・新商品開発時における麹の発酵状況の温度管理についての見える化。
- ・大豆や小麦以外の原料についての麹発酵に関するデータが蓄積されていないため温度管理を見える化することにより、温度上昇による失敗を防止したい。

〔実証試験内容〕

- ・温度データ取得機器「おんどとり」の設置による、温度管理システムの構築
- ・クラウド上のシステムとの連動を行い、タブレットやスマートフォンでの温度データの見える化を実施

〔結果及び効果〕

- ・麹の温度上昇の変化に気づき、不良になるのを未然に防ぐことができたなどの効果があった。

- ・また、試作時に張り付いて対応しなければならなかったが、離れた場所でも温度上昇を見ることができ負担軽減につながったとの効果もあった。

イ 指導企業：株式会社わしの尾（所在地：八幡平市）（事業内容：酒類の製造）
[課題及びニーズ]

- ・もろみの温度管理と手書きによる製造記録の作業軽減

[実証試験内容]

- ・温度データ取得機器「おんどとり」の設置による、温度管理システムの構築
- ・冷却水量調整画像データ取得システムの構築

[結果及び効果]

- ・これまでは従業員が製造現場に入り、朝夕2回温度測定を行っていたが、離れた場所からも温度データをリアルタイムで確認することができ、温度変化の流れをつかむことができた。（手作業による計測も実施したため、今後比較検討を行う）
- ・IoT導入を進めていくため、現場担当者への浸透性を高めていく必要がある。また、IoT導入後のトラブルに対応するスキルも持ち合わせるため、従業員教育の支援を必要とする。

ウ 指導企業：株式会社三和ドレス（所在地：二戸市）（事業内容：婦人服）
[課題及びニーズ]

- ・生産進捗状況の把握は1日に2回（昼と終業時）確認しているが、それをリアルタイムで把握できるようにし生産性向上に繋げたい。

[実証試験内容]

- ・1次生産ライン（某有名ブランドの生産ライン）に簡易的なシステムを導入。
- ・各作業員1名ずつにスマートフォンを配置（計13台）し、1枚の作業が完了するごとにカウントアップ（平均タイムも算出可能）し、管理画面で全作業員の進捗状況がリアルタイムで把握可能。

[結果及び効果]

- ・各作業員の進捗状況が一目で確認できるようになり、作業の遅れなどがある場合は、すぐに確認でき改善に繋げることができた。
- ・管理者が1日2回確認している作業が不要となり、作業の効率化が図られた。

エ 指導企業：岩手アパレル株式会社（所在地：遠野市）
（事業内容：紳士・婦人スラックス製造）

[課題及びニーズ]

- ・少量多品種の生産（特にも学生服のズボン）が多く、各製品がどの工程にあるかタイムリーに把握することができないため、それをリアルタイムで把握・管理できるようにしたい。

[実証試験内容]

- ・各製品の仕様書に2次元バーコードを付与（シールで貼り付け）し、各工程に製品が流れてきたら、バーコードリーダーでスキャンする仕組みを導入。
- ・管理画面では、工程ごとに各製品がいつその工程に入っているかを一目で確認することが可能。

[結果及び効果]

- ・少量多品種製品の管理する手間が大幅に削減され、作業効率の改善が図られた。
- ・納期管理もデータ管理することが可能となった。

【評価〈目標の達成度〉、数値の検証等】

生産性向上支援事業

ア	セミナー参加企業	目標：50社	成果：36社（①5社・②12社・③19社）
イ	専門家派遣企業	目標：10社	成果：5社（食2・縫製3）
ウ	モデル効果実証企業	目標：3社	成果：4社（食2・縫製2）

【今後の進め方〈波及効果を含めて〉をどうするのか】

- ・食品製造業の専門家派遣についてIoT導入により、製造工程における温度管理の見える化を図り、現場作業の軽減、品質向上を図ることが検証できた。今後は取得したデータの検証を進め、地域のITベンダー等と連携しながら本格的導入に向け支援していく。
- ・縫製業については今回の支援により作業の効率化、納期管理のデータ化等生産性向上に寄与することができた。更に検証を進め、このシステムを更にブラッシュアップし、他の縫製業へ展開し、縫製業全体の生産性向上に寄与していく。
- ・今後、IoT導入を進めていくためには、現場担当者への浸透性を高めていく必要がある。また、IoT導入後のトラブルに対応するスキルも持ち合わせるため、従業員教育の支援を検討していく。

【成果（結果）〈実施事業の内容・実績、実施した結果生まれた新たな課題等〉】

(2) 営業・販売力強化支援事業

① 研修会参加企業

[第1回目開催]

日時：令和2年11月19日（木）15：10～16：00

場所：岩手県工業技術センター 大ホール（盛岡市）

講師：元気化研究所 代表 佐藤和也

演題：展示会場で商談を勝ち取るためのプロモーション戦略

参加者：19名



[第2回目開催]

日時：令和3年3月1日（月）13：00～15：30

場所：二戸パークホテル（二戸市）

講師：第1部セミナー 元気化研究所 代表 佐藤和也

第2部セミナー デイジー・デジタル・デザイン 代表 笹平拓

演題：第1部セミナー「コロナで激変する社会今こそマーケティングでビジネスを強くしよう」

第2部セミナー「ウィズコロナ時代に勝ち残るためのホームページやSNSを活用した流通販売ノウハウについて」

参加者：14名



[第3回目開催]

日時：令和3年3月15日（月）13:00～15:30

場所：ホテルプラザイン水沢（奥州市）

講師：第1部セミナー 元気化研究所 代表 佐藤和也

第2部セミナー デイジー・デジタル・デザイン 代表 笹平拓

演題：第1部セミナー「コロナで激変する社会今こそマーケティングでビジネスを強くしよう」

第2部セミナー「ウィズコロナ時代に勝ち残るためのホームページやSNSを活用した流通販売ノウハウについて」



② 専門家派遣企業 10社

ア 指導企業：大林製菓(株)（所在地：一関市）（事業内容：餅類製造）

・実施日時 令和2年8月25日（火）10:00～12:00

・派遣専門家 元気化研究所 代表 佐藤和也

・指導内容 課題の確認と商品化提案・独自価値の言語化・販路戦略に関する指導



イ 指導企業：(有)高善商店（所在地：奥州市）（事業内容：甘酒、浅漬、味噌製造）

・実施日時 令和2年9月23日（水）10:00～12:00

・派遣専門家 元気化研究所 代表 佐藤和也

・指導内容 課題の確認（独自価値の明確化等）、独自価値を活かした商品化（独自商品【甘酒・麴】の他分野への応用）



ウ 指導企業：サンタランド(株)（所在地：西和賀町）（事業内容：煎餅類製造）

- ・実施日時 令和2年11月13日（金）10：30～12：00
- ・派遣専門家 岩手志援隊 所長 工藤めぐみ
- ・指導内容 新商品開発に係るパッケージ・ラベルイメージ・ネーミングに関する指導



エ 指導企業：(株)水沢米菓（所在地：奥州市）（事業内容：煎餅類・米類製造）

- ・実施日 令和2年11月17日（火）10：00～12：00
- ・派遣専門家 元気化研究所 代表 佐藤和也
- ・指導内容 アルファ化米を使用した商品のブランディングやコンセプトづくりに関する指導



オ 指導企業：(株)丸越（所在地：一関市）（事業内容：ニンニク・生姜の製造）

- ・実施日 令和2年12月2日（水）10：00～11：30
- ・派遣専門家 元気化研究所 代表 佐藤和也
- ・指導内容 商談会での効果的な商品の見せ方・訴求方法についての指導



オ 指導企業：(有)松勘商店（所在地：一関市）（事業内容：米・雑穀類の製造）

- ・実施日 令和2年12月2日（水）13：30～15：30
- ・派遣専門家 元気化研究所 代表 佐藤和也
- ・指導内容 ブランディングやコンセプトづくりに関する指導。経営戦略及び独自価値の明確化と言語化についての指導



キ 指導企業：(株)國洋（所在地：大船渡市）（事業内容：水産・農産加工品の製造）

- ・実施日 令和2年12月8日（火）10：00～12：00
- ・派遣専門家 岩手志援(株) 所長 工藤めぐみ
- ・指導内容 商談会での効果的な商品の見せ方・訴求方法についての指導



ク 指導企業：(株)壮関（所在地：大槌町）（事業内容：水産加工品の製造）

- ・実施日 令和2年12月8日（火）13：30～14：30
- ・派遣専門家 岩手志援(株) 所長 工藤めぐみ
- ・指導内容 商談会での効果的な商品の見せ方・訴求方法についての指導



ケ 指導企業：尾田川農園（所在地：軽米町）（事業内容：雑穀類の製造）

- ・実施日 令和2年12月10日（木）13：00～15：00
- ・派遣専門家 元気化研究所 代表 佐藤和也
- ・指導内容 独自価値や事業理念の明確化と言語化についての指導



コ 指導企業：岩手アカモク生産協同組合（所在地：宮古市）

（事業内容：アカモク加工品の製造）

- ・実施日 令和2年12月18日（金）13：00～15：00
- ・派遣専門家 元気化研究所 代表 佐藤和也
- ・指導内容 アカモクのブランディングやコンセプトづくりのブラッシュアップに関する指導



③ 展示会・商談会支援企業 43 社

◆スーパーマーケットトレードショー2021 への出展

会期：令和2年2月17日（水）～19日（金）

場所：幕張メッセ 国際展示場（千葉県）

出展事業者：24 社

来場者数：26,385 名（会場全体）



◆いわてアパレル企業ビジネスマッチング商談会の開催

商談期間：令和3年2月1日（月）～12日（金）

開催方法：個別マッチング方式

商談方法：電話、WEB会議システム

参加企業：受注企業（岩手県内）19社、発注企業（県外のメーカー、商社等）8社

総商談件数：53件

◆縫製企業データベース構築

サイト名：縫製工場ナビいわて

U R L：<https://sewing-db.joho-iwate.or.jp/>

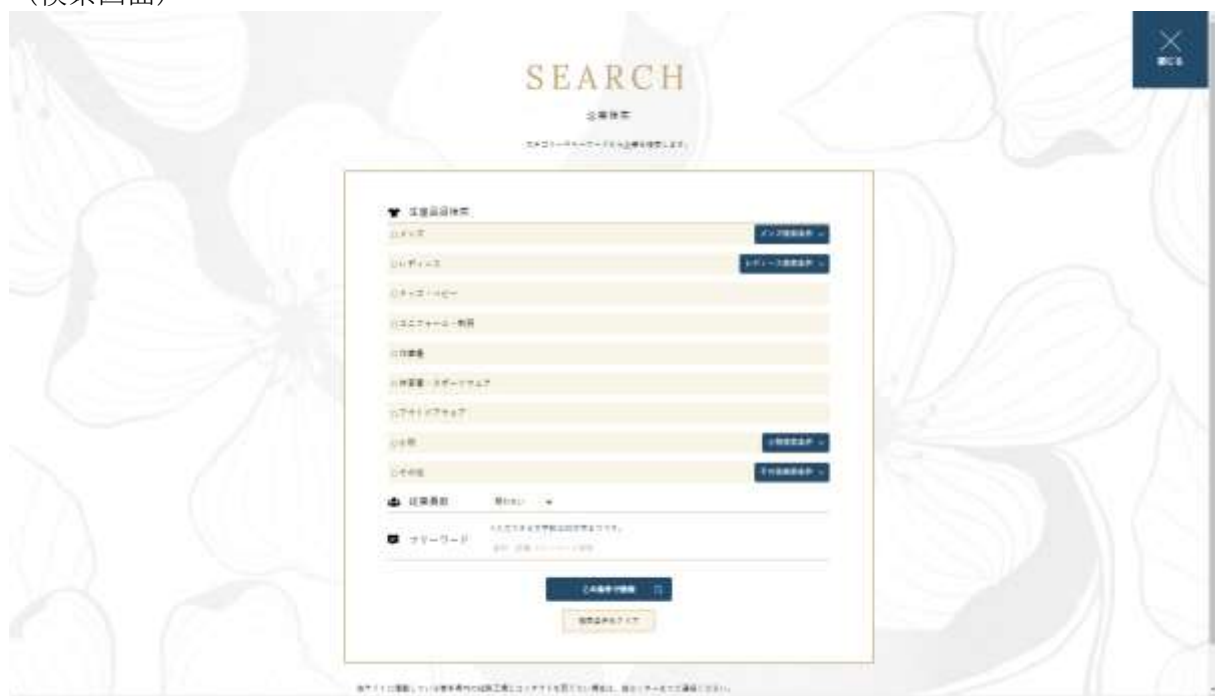
掲載企業：岩手県内縫製企業58社（R3.3.22現在）

開設目的：県内縫製企業への取引支援の一環として、検索機能を有する県内縫製企業のデータベースを構築し、首都圏を中心とする全国のアパレルメーカーや商社等との新規取引の機会創出を図り、取引活性化を促進するため開設したもの。

(サイトTOPページ)



(検索画面)



縫製工場ナビいわて



岩手モリヤ (株)

TEL 0194-53-6327



ジャケット、コート、スーツ、ワンピース他

天然帶村、古鐵地

資料試験—スポンジパター—ブレード—マーキング
—製造—仕上げ—出荷

素材試験・スポンジングも社内で行い、又、インターネットにてデータ配信可能・グレーディングも行います。最新鋭のハイテク縫製機を多数導入し、高品質の製品を低サイクルで縫製します。



建築士場などいわて

五、参考文献

物理量	単位	値
質量 m	kg	1.76
電荷 q	C	1.6×10^{-19}
電場 E	V/m	1.0
磁場 B	T	1.0
速度 v	m/s	1.875×10^8
位置 x	m	0.01
時間 t	s	0.01
エネルギー E	J	1.6×10^{-19}
力 F	N	1.6×10^{-19}
電流 I	A	1.6×10^{-19}
電圧 V	V	1.0
電導 G	S	1.6×10^{-19}
電容 C	F	1.6×10^{-19}
誘電率 ϵ	F/m	1.6×10^{-19}
透磁率 μ	H/m	1.6×10^{-19}
電磁波の速度 c	m/s	3×10^8
電磁波の波長 λ	m	0.01
電磁波の周波数 f	Hz	3×10^{10}
電磁波のエネルギー E	J	1.6×10^{-19}
電磁波の力 F	N	1.6×10^{-19}
電磁波の電流 I	A	1.6×10^{-19}
電磁波の電圧 V	V	1.0
電磁波の電導 G	S	1.6×10^{-19}
電磁波の電容 C	F	1.6×10^{-19}
電磁波の誘電率 ϵ	F/m	1.6×10^{-19}
電磁波の透磁率 μ	H/m	1.6×10^{-19}
電磁波の速度 c	m/s	3×10^8
電磁波の波長 λ	m	0.01
電磁波の周波数 f	Hz	3×10^{10}
電磁波のエネルギー E	J	1.6×10^{-19}
電磁波の力 F	N	1.6×10^{-19}
電磁波の電流 I	A	1.6×10^{-19}
電磁波の電圧 V	V	1.0
電磁波の電導 G	S	1.6×10^{-19}
電磁波の電容 C	F	1.6×10^{-19}
電磁波の誘電率 ϵ	F/m	1.6×10^{-19}
電磁波の透磁率 μ	H/m	1.6×10^{-19}
電磁波の速度 c	m/s	3×10^8
電磁波の波長 λ	m	0.01
電磁波の周波数 f	Hz	3×10^{10}
電磁波のエネルギー E	J	1.6×10^{-19}
電磁波の力 F	N	1.6×10^{-19}
電磁波の電流 I	A	1.6×10^{-19}
電磁波の電圧 V	V	1.0
電磁波の電導 G	S	1.6×10^{-19}
電磁波の電容 C	F	1.6×10^{-19}
電磁波の誘電率 ϵ	F/m	1.6×10^{-19}
電磁波の透磁率 μ	H/m	1.6×10^{-19}
電磁波の速度 c	m/s	3×10^8
電磁波の波長 λ	m	0.01
電磁波の周波数 f	Hz	3×10^{10}
電磁波のエネルギー E	J	1.6×10^{-19}
電磁波の力 F	N	1.6×10^{-19}
電磁波の電流 I	A	1.6×10^{-19}
電磁波の電圧 V	V	1.0
電磁波の電導 G	S	1.6×10^{-19}
電磁波の電容 C	F	1.6×10^{-19}
電磁波の誘電率 ϵ	F/m	1.6×10^{-19}
電磁波の透磁率 μ	H/m	1.6×10^{-19}
電磁波の速度 c	m/s	3×10^8
電磁波の波長 λ	m	0.01
電磁波の周波数 f	Hz	3×10^{10}
電磁波のエネルギー E	J	1.6×10^{-19}
電磁波の力 F	N	1.6×10^{-19}
電磁波の電流 I	A	1.6×10^{-19}
電磁波の電圧 V	V	1.0
電磁波の電導 G	S	1.6×10^{-19}
電磁波の電容 C	F	1.6×10^{-19}
電磁波の誘電率 ϵ	F/m	1.6×10^{-19}
電磁波の透磁率 μ	H/m	1.6×10^{-19}
電磁波の速度 c	m/s	3×10^8
電磁波の波長 λ	m	0.01
電磁波の周波数 f	Hz	3×10^{10}
電磁波のエネルギー E	J	1.6×10^{-19}
電磁波の力 F	N	1.6×10^{-19}
電磁波の電流 I	A	1.6×10^{-19}
電磁波の電圧 V	V	1.0
電磁波の電導 G	S	1.6×10^{-19}
電磁波の電容 C	F	1.6×10^{-19}
電磁波の誘電率 ϵ	F/m	1.6×10^{-19}

三、

[illegible]

Fonte: Elaborazioni dell'Autore su dati ISTAT, 2007.

營業・販売力強化支援事業

目標：50 社

目標：10社

目標：50 社

成果：43 社（食 24 社・縫製 19 社）

【今後の進め方〈波及効果を含めて〉をどうするのか】

- ・食品製造業については、展示会や専門家派遣を行った先へのフォローを実施するとともにコロナ禍に対応した商品の開発や販売手法（EC販売等）の支援を強化し実施していく、企業の売上増加に寄与する。
- ・縫製業については、本事業で構築したデータベースを利用し、全国のアパレルメーカーや商社等との新規取引の機会創出を増加させていき、コロナ禍で落ち込んでいる企業の売上回復に寄与する。

【成果（結果）〈実施事業の内容・実績、実施した結果生まれた新たな課題等〉】

（３）起業・人材・後継者育成支援事業

① 起業支援拠点の運営組織の設立

〔岩手イノベーションベース運営協議会設立総会〕

日時：令和２年７月１４日（火）１０：３０～１１：１５

場所：エスポワールいわて 小会議室（盛岡市）

特記事項：協議会参画機関による知事表敬も実施

日時：令和２年７月１４日（火）１１：４５～１２：００

場所：岩手県庁３階 第一応接室（盛岡市）



協議会設立総会



知事表敬

〔拠点開設〕

名称：岩手イノベーションベース（IIB）

場所：盛岡地域交流センター マリオス３階（いわて観光経済交流センター内）

運営主体：岩手イノベーションベース運営協議会

開設日：令和２年９月８日（火）～（営業時間 平日９：００～１７：００）

内容：相談窓口及び相談・研修スペース（当センターが駐在職員を配置）

趣旨：県内での起業の促進を図り、将来的に大きく成長するような起業家の育成を行うため、県と産学金の関係機関とが連携して起業支援拠点「岩手イノベーションベース」を開設し、起業に関する相談に対応するほか、起業家同士のネットワーク形成や、個別伴走支援、スキルアップ研修などの起業家支援を行う。



② 研修事業

ア 〔動画編集講座〕

日時：令和２年１１月２４日、２５日、２６日 各１３：３０～１６：００

場所：岩手イノベーションベース（盛岡市）

講師：デイジー・デジタル・デザイン 代表 笹平拓
 内容：11月24日（入門編）：動画編集・マーケティング、身近な事例紹介など
 11月25日（基礎編）：動画編集の基礎、YouTube へのアップロードなど
 11月26日（応用編）：動画編集の応用、自社の活用方法など
 参加者：延べ36名（24日：13名、25日：13名、26日：10名）



研修風景①



研修風景②

イ [Web デザイン講座]

日時：令和3年1月13日、14日、15日 各 13:30~16:00
 場所：岩手イノベーションベース（盛岡市）
 講師：デイジー・デジタル・デザイン 代表 笹平拓
 内容：1月13日（入門編）：ウェブデザイン業界でいま求められていることなど
 1月14日（基礎編）：Photoshop や Illustrator の基本操作体験など
 1月15日（応用編）：Wordpress を活用した自社サイト構築体験など
 参加者：延べ29名（13日：10名、14日：10名、15日：9名）



研修風景①



研修風景②

ウ [ビジネススキル講座]

日時場所：令和3年2月3日 13:00~16:00 まるしち ザ・プレイス（大船渡市）
 4日 13:00~16:00 シートピアなあと（宮古市）
 5日 13:00~16:00 岩手イノベーションベース（盛岡市）
 講師：株式会社グロータス 代表取締役 中村春樹
 内容：①競争優位を構築するための経営戦略
 ②間接業務の効率化に繋がる IT ツールの紹介や事例紹介など
 参加者：延べ40名（3日：20名、4日：10名、5日：10名）



研修風景①



研修風景②



研修風景③

③ 拠点活用件数

- ・延べ利用者数 507件
 （月例会 237件、講座等 176件、その他（情報収集等） 94件）

【評価〈目標の達成度〉、数値の検証等】

ア 起業支援拠点活用件数 目標：のべ 400 件 成果：のべ 507 件
イ ICT 等スキル集中講座受講者 目標：のべ 30 人 成果：のべ 105 人

【今後の進め方〈波及効果を含めて〉をどうするのか】

- ・今年度設立した起業支援拠点では、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により拠点開設時期の遅れなどもあったが、9月から無事に開設でき、その後は感染防止対策を徹底したうえでの講座運営やセミナーのオンライン開催などを実施することができた。今後も定期的なイベント開催をするとともに、新型コロナウイルスの感染状況を見ながら起業家同士のオフラインでの交流会等を開催することで起業家同士のネットワーク形成にも寄与出来るような取り組みを実施していきたい。
- ・コロナ禍によりビジネスのオンライン転換に向けた支援が一層求められるようになり、企業内の技術者養成はもとより、こうした企業群を支援できる事業者の育成を引き続き推進していきたい。

※ メディアによる報道①



令和2年7月15日（水）岩手日報



令和2年7月15日（水）岩手日報



令和2年7月15日（水）盛岡タイムス



令和2年9月8日（火）岩手日報



令和2年10月15日（木）岩手日報



令和2年10月20日（火）岩手日報



令和2年12月25日（金）盛岡タイムス



令和2年12月25日（金）盛岡タイムス

※ メディアによる報道②



注 1) 上記項目について詳細に記載してください。

注 2) 成果（結果）の内容について、別途、お伺いすることがあります。

注 3) 成果物（報告書・アンケート集計物・DVD等）、記録用写真等があれば提出してください。

※参考（岩手イノベーションベース運営協議会主催事業）

・月例会（月1回開催 起業意識醸成等セミナー）

回	開催日	内容	参加者数
1	10/23	【内容】講演、パネルディスカッション 【講師】 ・株式会社フィックスターズ 代表取締役社長 CEO 三木 聡 ・株式会社イノベーション 代表取締役社長 富田 直人 【テーマ】「地方から上場経営者の道」	計56 名
2	11/27	【内容】講演、パネルディスカッション 【講師】 ・株式会社チェンジ・ザ・ワールド 代表取締役 池田 友喜 ・株式会社クジラテラス 代表取締役 上神田 正利 【テーマ】「1億円 経営者への道 in 東北」	計63 名
3	12/21	【内容】講演、パネルディスカッション 【講師】 ・Idein株式会社 代表取締役 中村 晃一 ・レイ・フロンティア株式会社 代表取締役CEO 田村 建士 【テーマ】「テクノロジーCEO from 岩手」	計36 名
4	1/22	【内容】講演、パネルディスカッション 【講師】 ・株式会社ディマージシエア 代表取締役社長 大内 慎 【テーマ】「フォーラムと経営」	計45 名
5	2/26	【内容】講演、パネルディスカッション 【講師】 ・株式会社フューチャーリンクネットワーク 代表取締役 石井 丈晴 氏 【テーマ】「地元起業、そして成長。」	計37 名

・周知交流

行事名	開催日	内容	参加者数
キックオフイベント	9/7	・岩手イノベーションベース構想の説明 ・挨拶（保副知事） ・パネルディスカッション 【テーマ】「岩手からの起業の可能性について」 【パネリスト】 ・株式会社メディアドゥ 代表取締役社長 CEO 藤田 恭嗣 ・株式会社エルテス 代表取締役 菅原 貴弘 ・岩手県副知事 保 和衛 【コーディネーター】 岩手イノベーションベース運営協議会会長 佐々木 慈和 ・「フォーラム」の紹介 ・参画機関からのメッセージ	計151 名 （延べ利用者数には含めず）
「ネクジェネ いわて 2020」への出展	11/7～8	・「いわてネクストジェネレーションフォーラム 2020」にブース出展し、岩手イノベーションベースを紹介	セミナー参加者計15 名

	11/8	・併せて、ワークショップ型起業セミナー（県主催）を IIBで開催し、オンライン配信を行うとともに、ブ ースにおいても上映 【講師】 株式会社ルミナス・アンド・カンパニー 代表取締役 川村 真耶	
「いわて若 者カフェ」 と連携した カフェミー ティング	1/19	・岩手イノベーションベース×いわて若者カフェ カフェミーティング「“普通”じゃない、それは 同時に、可能性」～福祉×クリエイティブによる 世界への挑戦～ 【講師】 株式会社ヘラルボニー 代表取締役副社長 松田 文登	計16 名
	3/4	・第2弾IIB×いわて若者カフェ カフェミーティング 「現役女子大生が起業!？」 ～「はじめる」の『始め方』～ 【講師】 sasatta.llc 代表 南條 亜衣	計21 名
ワ ー ク シ ョ ッ プ 型 起 業 セ ミ ナ ー	3/14	・ワークショップ型起業セミナーをIIB で開催 し、オンラインでも配信 【講師】 株式会社ルミナス・アンド・カンパニー 代表取締役 川村 真耶	計11 名

・情報発信

・テレビ番組での情報発信

IBCテレビ「未来を拓け IIBの挑戦」放映

(第1回：11/23、25 第2回：12/7、14 第3回：1/11、18 第4回：2/8、15
第5回：3/8、15)

・Webでの情報発信

Webサイトへの記事投稿 計31件

Webサイト閲覧数 計16,390pv